

一般財団法人岐阜市未来のまちづくり財団

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 まちづくり活動支援事業

岐阜市らしい個性ある良好なまちなみの保全・創出や地域の活性化を図り、官民が連携してまちづくりを推進することを目的に、地域全体の景観まちづくり活動等を支援・啓発した。また、公共空間や民間の力の活用により、岐阜市未来のまちづくり構想で位置付けられたセンターゾーン全体ににぎわいを波及させるとともに快適性の創出及び回遊性の向上を図り、エリアの価値向上を目指して以下の業務を行った。

(1) 景観まちづくり活動支援業務

まちなかの再生や個性ある魅力的なまちなみの形成を目指し、また『景観整備機構』として各種の事業を行った。

① 景観まちづくり活動の支援に関すること

岐阜市景観形成市民団体や中山道加納宿まちづくり交流センターの活用促進に取り組む地元団体等の動向を把握するため、役員会や打合せ会議等に出席した。また、各種取り組みに対して技術的支援を行ったほか、相談に関する助言や情報提供などを行った。なお、テーマに沿った専門家の派遣については、要請がなかった。

○技術的支援：役員会、総会、事業等への参加（計30回／5団体）

※まちづくりアドバイザー：登録者数17人

② 景観まちづくり活動の啓発に関すること

景観まちづくりに関する情報収集に努めるとともに、住民主体のまちづくり活動を啓発する事業として講演会等を開催した。

○景観まちづくり講演会

日 時：令和8年2月6日（金） 19：00～20：30

場 所：みんなの森 んぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

講 師：一般社団法人郡上八幡まちづくり会議理事兼事務局長、
チームまちや代表 武藤 隆晴氏

演 題：「郡上八幡の空き家の再生を通じたまちづくりを学ぶ」

人 数：43人

- ③ ぎふ景観まちづくりファンド助成制度のフォローアップに関すること
ぎふ景観まちづくりファンド助成を行った物件について、維持管理状況のフォローアップを行った。

○維持管理等に関する相談対応：4件

○景観まちづくりの啓発（景観まちづくり講演会）に関する案内：1回

※助成承諾総数：127件（平成20年度～令和3年度）

うち財産処分制限期間※内の物件数：53件（令和7年4月1日現在）※助成後10年間

- ④ 民間主導のまちづくり支援に関すること

伊奈波エリアのまちの課題や未来の可能性を共有し、多様な主体者が連携した地域主導型のまちづくりの機運醸成に向けたシンポジウム等を開催した。

また、シンポジウムでの放映や伊奈波エリアのPRを目的に、担い手たちの動きやまちの風景をテーマとしたプロモーション動画を作成した。

○シンポジウム開催に向けたイベントの開催

名 称：ミニトークセッション&アイリッシュミュージック

日 時：令和7年10月19日（日）11：00～12：00

場 所：「みらいの参道まるけ」会場内 Tap Room YOROCA 前

内 容：テーマによって登壇者が入れ替わりながら登場する計4回のトークイベントを開催した。

○シンポジウムの開催

名 称：ミライの伊奈波シンポジウム

～未来のまちの風景をみんなで語ろう～

日 時：令和8年1月17日（土）15：00～17：00

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス

人 数：約200人

内 容：2部制でパネルディスカッションを開催した。

第1部 「伊奈波のミライを語ろう」

テ マ：生活やなりわいを中心に、伝統文化に触れられる暮らしと次世代への継承

パネラー：小野崎 隆賢氏（岐阜技芸学院）

山本 舞氏（まちやど金木犀経営）

蒲 瑞和氏（まちを楽しむ中学生）

モデレーター：山本 慎一郎氏（株式会社岐阜まち家守）

第2部 「伊奈波を中心にセンターゾーンを語ろう」

テーマ：センターゾーン構想における伊奈波のあり方と岐阜市全体の
未来にこの町がどう息づいていくのか

パネラー：山本 慎一郎氏（株式会社岐阜まち家守）

末永 三樹氏（柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社）

青木 純氏（リノベーションスクール@岐阜スクールマスター）

柴橋 正直氏（岐阜市長）

モデレーター：蒲 勇介氏（株式会社岐阜まち家守）

○プロモーション動画の作成

伊奈波エリアの魅力を伝えるとともに近年の変化も分かるものとし、動画を見た人に「行ってみたい」「住んでみたい」などを印象づける内容及び構成に心掛け、3分程度に仕上げた。

⑤ まちなか居住支援相談に関すること

中心市街地において、持続的に居住者の確保を図るため、まちなか暮らしを後押しする助成についての相談対応を行った。

相談件数は179件で、そのうち申請件数は36件であった。

(2) まちなか歩き回廊推進業務

「岐阜市まちなか歩き構想」に基づき、歴史ある岐阜の魅力に接し、心の豊かさが感じられる空間の創出、及び市内のまちなか歩き・まちなか観光を実現するため、下記事業を行った。今回は、問題作りにおいて岐阜小学校と連携した。

○まちなか歴史クイズウォーク 信長公からの指令

日時：令和7年12月6日（土）、7日（日） 9:00～16:30

場所：岐阜公園および周辺の史跡等（初級/上級の2コース）

人数：スタート受付 延べ3,894人（うち子ども 延べ1,605人）

ゴール受付 延べ2,238人（うち子ども 延べ1,007人）

2 中心市街地活性化事業

中心市街地の活性化と都市機能の増進を図るため、『中心市街地整備推進機構』として、岐阜市中心市街地活性化基本計画（以下「基本計画」という）に定められた基本方針の一つである「時間を消費したくなるような魅力づくり」に向けた各種事業等を行った。また、官民が連携し基本計画を推進していくため、中間支援組織として民間事業者が活動しやすい環境づくりを行った。

(1) 中心市街地活性化推進業務

これまでに創出し、育成を図ってきたまちづくりの担い手や商店街及びまちづくり団体等の取り組みに対し、引き続き相談、助言、調整など技術的な支援を行うとともに、それらを広く発信するため、テレビ番組等を活用した情報発信を行った。また、中心市街地に関する各種調査を実施し、まちづくりのための基礎データを蓄積した。

○中心市街地の活性化に関する相談対応 168 件

○まちづくり団体への技術的支援 会議等へ参加及び相談対応 23 回

○中心市街地活性化基本計画の推進にかかる支援

- ・新規出店調査：令和 8 年 2 月（前回：令和 7 年 1 月）

調査エリア…若宮町通り（北）、金華橋通り（西）、金宝町通り（南）及び御鯨街道（東）で囲まれた約 28ha

新規出店数…60 店（令和 7 年 1 月～令和 8 年 2 月）

※参考：416 店（平成 26 年 9 月～令和 8 年 2 月）

- ・（仮称）柳ヶ瀬エリアビジョン策定に向けた、柳ヶ瀬エリアプラットフォーム構築等への支援

柳ヶ瀬エリアプラットフォームの構築に向け、岐阜市からのエリアプラットフォームにかかる基礎情報提供依頼に対して、過去、財団が作成した資料や情報の提供を行った。また、令和 8 年 3 月 22 日（日）に開催された「柳ヶ瀬エリアプラットフォーム設立記念シンポジウム」及び懇談会に際しては、シンポジウム会場となるロイヤル劇場の会場レイアウトに関する助言、音響設備をはじめとした物品の貸与及び設営・撤収を行った。

○情報発信による支援

- ・テレビ番組を活用した情報発信 制作/OA 回数 5 分程度×8 回分

ぎふチャン「めっちゃぎふわかるてれび」めっちゃまちづくりコーナー

回	放送日	内 容	時間
#01	6 月 20 日（金）	柳ヶ瀬日常ニナーレ 2025 体験プログラムのパートナーを募集	05:10
#02	8 月 15 日（金）	テツナグランチ MAP！ 親子で“柳ヶ瀬ランチ”してみませんか	07:00
#03	9 月 5 日（金）	小学生の起業家精神を育む「岐阜市地域お仕事発見隊」	09:00
#04	9 月 19 日（金）	商店街に恐竜が大集合！ 柳ヶ瀬ジュラシックアーケード	05:00
#05	11 月 21 日（金）	商店街と大学生が共に考える道路の未来「長良橋通りテラス」	09:45
#06	12 月 26 日（金）	まちを面白がる 40 の体験プログラム ～柳ヶ瀬日常ニナーレ～	08:10
#07	1 月 30 日（金）	好きなこと、やりたいことを形に～はじめてのマルシェ出店～	11:48

※#07 は、詳しく情報発信を行うため、協議の上 2 回分の枠（5 分程度×2 回）を使った特別番組とした。

○柳ヶ瀬エリアにおける経営等実態調査

調査対象：柳ヶ瀬エリアのうち、昼間に営業している店舗

内容：新型コロナ前と比べた経営状況、高島屋閉店後の影響度・客層の変化、予想される5年後の状況、自店の課題や心配事等

期間：令和8年2月20日（金）～3月13日（金）

回収店舗数：236店（回収率：95.9%） ※対象配布店舗数 246店

(2) リノベーションまちづくり推進業務

地域が有する歴史、文化、産業及び人的資源等を活用し、リノベーションまちづくりを推進することにより、都市・地域の課題を解決するとともに、エリアの価値を高め活性化を図った。

昨年度まで当財団が受託し、都市再生推進法人である柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社と連携して進めてきた「柳ヶ瀬日常ニナーレ」及び「やながせテーブルトーク」と新規事業である「わたし投資」については、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社が岐阜市から直接受託したため、当財団においては、これまでに積み上げたノウハウや経験を活かし、中間支援組織の立場として、それら事業の企画運営に参画するとともに、必要に応じて助言・提案等を行った。

また、今後のリノベーションまちづくりの推進に向けた、岐阜市のリノベーションまちづくり事業の企画検討打ち合わせ等にも参加し助言・提案等を行った。

さらに、問屋町における地域の取り組みに対し伴走型の支援を行うとともに、中心市街地においてリノベーションまちづくりの啓発イベントを開催した。

○柳ヶ瀬日常ニナーレ等への企画運営支援

企画打ち合わせや事業当日の運営支援等に参加（計11回）

○問屋町における地域の取り組みに対し伴走型の支援

岐阜市や地元関係者との情報共有、ディスカッションなどを行いながら、地域内で行う議論のたたき台として活用することを目的とした「問屋町まちづくりの方向性(案)」を作成するため、地元関係者へのヒアリングと意見取りまとめを行った。

- ・岐阜市及び地元関係者との企画打ち合わせ（計11回）
- ・地元関係者へのヒアリング（計14名、延べ18回）

○リノベーションまちづくり啓発イベント

主にヒアリングを行った地元関係者の意見を取りまとめた「問屋町まちづくりの方向性(案)」の発表と今後の取り組みに向けた情報共有を目的に開催した。

当日は、3部制のプログラムとし、第1部では地元関係者により、まちづくりの方向性（案）の確認を兼ねて、改めて問屋町の歴史や成り立ちなど、ここが岐阜市の経済を支えていた場であったことが示された。

第2部では、問屋町に出店又は今後出店を予定している起業家に加え、遊休不動産を活用していこうとするメンバーが、外部から見た問屋町の魅力や可能性について語った。

第3部では、岐阜市のリノベーションまちづくりに関わり続けている青木純氏と、京都市の梅小路エリアで遊休不動産活用を10年にわたり取り組まれている株式会社51 Action R&D 代表取締役の水口貴之氏を迎え、他都市の事例と問屋町の可能性についてのレクチャーが行われた。

日 時：令和8年3月15日（土） 15：00～17：00
場 所：岐阜市問屋町2-8 ALFAグレースビル 2階
人 数：12名

(3) 中心市街地まちづくり活動事業

まちなか活性化活動拠点運営事業として、柳ヶ瀬エリア内のロイヤル劇場ビルの一部を借上げ、各種団体の活動発表や展示、ワークショップ会場等の活用場として「レンタルスペース」の運営を行った。

加えて、岐阜市立中央図書館と連携し「まちライブラリー」を設置するなど、パブリックマインドを持った人たちの交流の場として、「やながせRテラス」の活用促進を図るとともに、一部空間を用いて柳ヶ瀬エリア内に不足している授乳室やおむつ交換スペース、休憩スペース等の公益機能を提供するほか、中心市街地活性化に関する取り組みの情報提供、相談対応等を行う窓口を開設した。

○レンタルスペース(3、4階)

利用状況：169件 23,192人（前年度 275件 30,846人）

○やながせRテラス(2階)

利用者数：21,150人（前年度 18,451人）

うち、ロイヤルヨンマル(1、2階の空き区画をリノベーションしたスペースへの出店者)

利用状況：22件 814人（前年度：53件 707人）

3 緑化推進事業

(1) 緑化推進事業

① わが家のシンボルツリー無料配布

家の新築や新築住宅購入のお祝いに、苗木を無料配布した。

○配布本数：433本 782,265円（前年度 404本 732,820円）

前期 令和7年11月29日（土） 188本

後期 令和8年3月14日（土） 245本

※植物活性剤（メネデール）及び啓発冊子「花や木の伝説と由来」

「花と緑を育てよう」、「みどりのまち便り」を配布した。

② 花飾り講習会の開催

市民を対象に年3期(6日/12回)開催し、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図った。参加者には、「花と緑のガーデニングノート」等の啓発冊子を配布することにより、家庭における緑化を推進した。

○実施日及び参加者数：計 420 人（前年度 440 人） 参加料：2,000 円

参加者内訳 1) 5月21日(水)、22日(木)(午前、午後) 140人
2) 10月15日(水)、16日(木)(午後、午後) 140人
3) 3月25日(水)、26日(木)(午前、午後) 140人

③ 樹木医診断の実施

民有地緑化の主となる樹木の適正な維持管理のため、市民からの依頼に基づき樹木のほか、保存樹・保存樹林に対しても樹木医を派遣して診断を実施した。

○診断件数：30件 918,000円（前年度 40件 1,224,000円）

④ 市民活動団体への活動支援

緑化等の普及啓発活動に資する市民活動団体に対して、講習会等を開催し、春季に花壇用の肥料、秋季に植物活力液と冊子「花と緑のガーデニングノート」を配布した。また、団体が管理する花壇へ花苗を配布した。

○ふれあい花壇団体交流会

前期：団体数 139団体

人数 139人

内訳 5月27日(火)57人、28日(水)52人、29日(木)30人

後期：団体数 122団体

人数 122人

内訳 10月1日(水)40人、2日(木)53人、3日(金)29人

○ふれあい花壇団体への花苗配布

前期(春)：ペゴニア、マリーゴールド

後期(秋)：パンジー

合計 75,360株配布

⑤ 保存樹等管理者講習会の開催

保存樹・保存樹林の所有者や管理者を対象に「危険度診断と対策」と題した講習会を実施し、植物活性剤(メネデール)及び啓発冊子を配布した

○7月9日(木) 北部コミュニティセンター 29人（前年度 37人）

(2) 緑化普及啓発事業

① 保存樹・保存樹林の適切な維持管理

市が指定した保存樹、保存樹林の所有者又は管理者を対象に、維持管理費用の一部を補助した。

○保存樹・保存樹林の補助金交付事業

交付数：保存樹 46 件 284,000 円 (前年度 48 件 297,000 円)

〃 : 保存樹林 19 件 465,000 円 (前年度 19 件 465,000 円)

登録数：保存樹 56 件 保存樹林 20 件

※保存樹 56 件のうち 10 件、保存樹林 20 件のうち 1 件については、補助金が無くても適正管理が可能とのことで、補助金を辞退された。

② 各種奨励補助金の交付

生け垣づくり・張芝・地域緑化・環境緑化等を奨励するために施工費の一部を補助した。また、岐阜市自然環境の保全に関する条例に規定する団体に対し、財政的な支援として補助金を交付した。

○張芝奨励補助金 12 件 351,000 円(前年度 13 件 353,000 円)

○生け垣づくり奨励補助金 1 件 30,000 円(前年度 なし)

○自然環境保全活動団体支援 7 団体 420,000 円(前年度 7 団体 420,000 円)

③ 緑化イベントの開催

○花と緑のフェスティバル「フローラリー岐阜」の開催

花と緑に関心を深めてもらうイベント「フローラリー岐阜」を、実行委員会事務局として岐阜市・緑化推進研究会とともに開催した。

日 時：令和 7 年 4 月 29 日（火・祝） 10:30～15:30

場 所：長良公園

内 容：ステージイベント（和太鼓、チアダンス等）

テントブース（緑化募金、野菜販売、樹木育成相談等）

ビンゴ大会、先着 100 名花苗プレゼントなど

○ふれあい緑化フェアの開催

「花と緑のまちづくり～ひとつの種からみんなの心も花いっぱい～」をテーマに、第 15 回岐阜公園ふれあい緑化フェアを開催した。

日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土） 10:00～14:00

場 所：岐阜公園

内 容：テントブース（緑化募金、野菜販売、樹木育成相談等）

ゲーム大会、先着 100 名花苗プレゼントなど

○夏休み子ども寄せ植え教室の開催

「子どもたちが緑や花とふれあい、ガーデニングの楽しさを知り、岐阜のまちを緑あふれる未来に繋げたい」をコンセプトに寄せ植え教室を開催した。

日 時：令和7年7月26日（土） 10:00～11:30

場 所：南部コミュニティセンター

人 数：16組 32人 （前年度 21組 42人） 参加料：2,000円

④ 緑化基金造成、管理業務

財団が主催するイベントや参加するイベントにおいて、基金の募金活動を行ったほか、緑化啓発パンフレット、種子や花の配布を実施した。また、岐阜市役所24部署の職員等から寄付を受け、謝礼品の球根（チューリップ）を配布した。

○一般募金額 総計 124,402円（前年度 97,400円）

- ・第53回道三まつり 4月5日 26,200円（前年度 24,200円）
- ・フローラリー岐阜 4月29日 20,700円（前年度 20,000円）
- ・第15回ふれあい緑化フェア 10月25日 25,402円（前年度 20,400円）
- ・ぎふ信長まつり 11月1日 16,800円（前年度 荒天中止）
- ・第73回ぎふ梅まつり 3月7日 35,300円（前年度 32,800円）

○岐阜市職員等寄付金 855口 427,500円（前年度 848口 424,511円）

○緑化基金

前期末残高 304,015,301円

当期増加額 3,359,042円

（基金運用収入 2,807,140円 募金収入 551,902円）

当期減少額 2,665,331円

当期末残高 304,709,012円

4 公共施設等管理事業（公益目的）

(1) 梅林公園管理業務

公園の適切な維持管理に努めるとともに、梅の開花時期に合わせてホームページに「梅だより（開花情報）」を掲載するなど広報宣伝に努めた。

- ・梅、モミジ等樹木の剪定、枯れ枝の処理を行った。
- ・芝刈り、藤棚、生垣の維持管理を行った。
- ・「梅だより」を当財団ホームページに週1回程度、計10回掲載した。
- ・市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム（梅林公園守る会、D51守る会）の皆さんに清掃用具を貸し出すとともに、園内の清掃・管理を協働で行った。
- ・令和8年3月7日（土）、8日（日）に開催された「第73回ぎふ梅まつり」に参加（1日のみ）し、募金活動を兼ねて緑化普及啓発事業を行った。

(2) 岐阜公園総合案内所運營業務

岐阜公園内の総合案内所の管理運營業務を行い来園者のサービス向上に努めた。公園を訪れた人が、岐阜の歴史や文化等を感じながら楽しむことができるよう、イベントなどの情報を収集し、案内・情報提供を行った。

開館日数： 359 日 (前年度 359 日)

来館人数： 191,047 人 (前年度 81,787 人)

案内人数： 15,234 人 (前年度 9,057 人)

5 その他の公共施設等管理事業

(1) 岐阜公園等管理業務

岐阜公園の維持管理業務並びに華松軒（和室、茶室等）の管理業務及び使用収納事務を行った。

○岐阜公園来園者環境整備状況等

- ・来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。
- ・総合案内所、華松軒及び岐阜公園維持管理の職員に対し防災・接遇研修を実施した。

○市民茶会「茶の湯でわたし時間」

- ・講師のお茶に関する説明に続き、本格茶室「青翠庵」で和菓子とお抹茶を提供し、静かな秋のひと時を演出した。

日 時：令和 7 年 10 月 18 日（土） ①10:00 ②13:00

場 所：岐阜公園内華松軒

人 数：35 人（当日欠席 5 人） 参加料：1,000 円

(2) 岐阜薬科大学 薬草園管理業務

岐阜薬科大学の指導の下、薬草園の管理を行い、施設の適切な教育研究環境を確保し、市民への勉強会支援など、薬草に関する正しい知識の普及に努めた。

○一般公開：令和 7 年 4 月 9 日～10 月 31 日の月・水・金・日

（8 月と祝日、振替休日除く）

来園者数：225 人（前年 185 人）

○特別公開：令和 8 年 2 月 15 日～ 3 月 15 日（オウレン観賞）

来園者数：446 人（前年度 356 人）

- ・園内の薬草栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。
- ・管理舎、水草園の維持管理及び温室の室温管理を実施した。

(3) 金公園イベント等管理業務

公園内におけるイベント等の主催者に対し、鍵の開閉を行うとともに、公園内施設の点検、巡回、主催者への指導等の管理を実施した。

利用件数(日数)： 16 件 (12 日) (前年度 27 件、26 日)

管理業務収入： 104,412 円 (前年度 209,550 円)

(4) 自販機等収益事業

公園内における自動販売機及び岐阜公園内立礼茶席を管理運営して財団の収益に繋げた。

○自動販売機事業：設置数 32 台 (前年度 32 台)

収益額 5,156,288 円 (前年度 4,815,384 円)

※梅林公園に新たに 1 台設置し、北西部運動公園から 1 台撤去した。

○立礼茶席事業：利用者数 8,995 人 (前年度 7,744 人)

収益額 4,856,450 円 (前年度 3,735,700 円)

※岐阜城楽市オープン記念として「抹茶フェア」を開催した。

・日 時：令和 7 年 4 月 26 日 (土) ～5 月 6 日 (火) 10:00～16:00

内 容：呈茶一服 600 円のところ 500 円

抹茶セット 850 円のところ 800 円

結 果：利用者数 389 人 収益額 202,000 円

※幼稚園児を対象とした「茶の湯体験会」を実施した。

・日 時：令和 7 年 11 月 13 日 (木) ①10:00 ②11:00

参 加 者：芽含幼稚園 年長組 18 人 (引率者含む)

・日 時：令和 7 年 11 月 20 日 (木) ①10:00 ②11:00

参 加 者：岐阜幼稚園 年長組 23 人 (引率者含む)

・日 時：令和 7 年 11 月 21 日 (金) ①10:00 ②11:00

③13:00 ④14:00

参 加 者：岐阜幼稚園 年長組 48 人 (引率者含む)

内 容：立礼茶席職員の手ほどきにより、お茶とお菓子を提供した。

参 加 料：400 円

利用者数：89 人 収益額 35,600 円

収益事業収入額 10,012,738 円 (前年度 8,551,084 円)

6 都市政策・エリアマネジメント検討支援事業

(1) 遊覧都市プロジェクト支援業務

岐阜市・岐阜大学・都市再生推進法人が連携し、中心市街地の新しいライフスタイルを先行的に構想し、それを支えるインフラの在り方を検討するとともに、社会実験等の実践結果から政策へのフィードバックを行い、あるべき都市政策・エリアマネジメントを考察・提言する「遊覧都市プロジェクト会議」の事務局を担い、会議の日程調整、議事録の作成等を行った。

【第1回会議】

日 時：令和7年7月14日（月）16：00～18：30

会 場：岐阜大学美殿町ラボ 岐阜市美殿町40 矢沢ビル201

内 容：①今後進めていきたい都市ビジョンの議論テーマの提案

②モビリティビッグデータの現状について

③具体事例による議論

【第2回会議】（岐阜大学と岐阜市による意見交換会）

日 時：令和7年10月3日（金）13：30～15：30

会 場：岐阜大学美殿町ラボ 岐阜市美殿町40 矢沢ビル201

内 容：市の課題を「My Mobility 共創拠点」の活動と関連付け、より建設的で根本的な解決策を探る議論を市と大学側で行い、共通認識を持つことを目的に開催した。

【第3回会議】

日 時：令和8年3月4日（水）9：00～12：00

会 場：ロイヤル劇場ビル3階ホールB 岐阜市日ノ出町1丁目20番地

内 容：第2回会議において、実際の進め方について関係者と意見交換を行った結果、まずは連携体制の設計が必要ということとなった。

そこで柏市の柏の葉キャンパス駅を中心に官・民・学が連携し、まちづくりを進めている柏の葉アーバンデザインセンターの職員を招聘し、連携体制を構築方法やその成果などの事例を聞くことで、関係者が共通認識を持つ機会として開催した。

7 駐車場 指定管理等事業

(1) 駐車場指定管理業務

岐阜市金公園地下駐車場（145 台収容）の指定管理者として、「運営管理の基本方針」に基づき、『利便性があり、安全・安心で、防災に強い駐車場』を目指し、公平・公正なサービスを提供した。

利用総数：65,298 台（前年度：74,466 台）

一日平均： 178 台（前年度： 204 台）

○利用促進キャンペーン

期 間：令和7年11月15日（土）～令和8年2月15日（日）

内 容：駐車回数5回で150円、駐車回数7回で300円の回数券を86人が引き換えた。

8 視察対応及び講師派遣事業

これまで財団が関わってきた取り組み・実績等に対する視察や講師派遣等の依頼を受け入れ、財団の広報公聴活動並びに収益事業として取り組んだ。

視察対応：6件（前年度：6件）※うち4件が市からの依頼による。

講師派遣：1件（前年度：1件）

事業報告の付属明細書

令和7年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。

役員等に関する事項

役 職	氏 名	就 任 日	辞 任 日
理事長	後藤 和弘	令和7年6月6日再任	
常務理事	山口 晃	令和7年6月6日再任	
理 事	名畑 恵	令和7年6月6日再任	
理 事	船田 淳	令和7年6月6日再任	
理 事	若森 信一	令和7年6月6日再任	令和7年7月31日
理 事	高井 賢治	令和7年6月6日再任	
理 事	早川 ゆかり	令和7年8月1日	
評議員会長	倉内 文孝	令和5年4月1日	
評議員	加藤 祥子	令和5年4月1日	
評議員	鷺見 弘	令和5年4月1日	
評議員	野尻 智周	令和5年4月1日	
評議員	阿部 一臣	令和6年7月1日	
監 事	川瀬 勝義	令和5年4月1日	
監 事	太田 正洋	令和5年4月1日	令和7年6月6日退任
監 事	水谷 圭司	令和7年6月7日	

行政認可・許可・登記に関する事項

種類	年 月 日	内 容
登記	令和7年6月18日	役員変更登記
登記	令和7年8月1日	役員変更登記